

# 学 園 報

No.50

富山国際学園 URL <http://www.tii.ac.jp/> 富山短期大学付属みどり野幼稚園 URL <https://www.toyama-c.ac.jp/info/midorino/>  
 富山国際大学 URL <https://www.tuins.ac.jp/> 社会福祉法人富山国際学園福祉会にながわ保育園 URL <http://www.tkfukushikai.or.jp/ninagawa/>  
 富山短期大学 URL <https://www.toyama-c.ac.jp/> 社会福祉法人富山国際学園福祉会西田地方保育園 URL <https://www.tkfukushikai.or.jp/nishiden-hoiku/>  
 富山国際大学付属高等学校 URL <http://www.tuins-h.ed.jp/>

## ●学校法人富山国際学園

〒930-0193 富山市願海寺水口444  
 TEL/076-436-5139  
 FAX/076-436-5444

## 新型コロナウイルスとウクライナ侵攻



理事長

金岡 克己

新型コロナウイルスの出現から、早や2年余りが経過いたしました。この間、6度の流行を経験し、社会活動が大きな制限を受けています。小中高一斉休校の要請に始まり、学校・学級閉鎖の一般化、幼児のマスク着用など、教育・保育現場にも少なからぬ影響がありました。その渦中、2月24日にロシア軍がウクライナに侵攻し、世界に衝撃が走りました。

新型コロナとウクライナ侵攻、二つの事象に共通するのは、サイバー空間における情報流通が一瞬にして行われる時代に起きたことです。私たちは、ほぼリアルタイムで事態の推移を窺い知ることができます。多くの情報に接し感ずるのは、78億人からなる現代社会が、人種、言語、宗教、文化、政治体制など多様性に満ち、同時に、複雑かつ相互に関連していることです。

新型コロナでは命の重みが問われたと思います。人の自然な感情は感染拡大の抑制でしょう。一方、日本の失業率と自殺率には高い相関が知られています。感染抑止のための社会活動の制限は、景気の悪化を生み、生活苦から自殺者が増加する恐れがあります。

ウクライナ侵攻は、米ソ冷戦、NATO・ワルシャワ条約機構、ソビエト連邦崩壊、EU誕生など、歴史的経緯を知らなければ理解できない側面があります。

環境問題もその一つです。ドイツでは環境政党が躍進し、原発の廃止、石炭火力の廃止に舵を切りました。再生可能エネルギーは、自然相手のため稼働率が不安定で、周辺国との電力取引で凌いでいます。結果、ドイツの電力料金はEU平均を大きく上回りました。また、CO<sub>2</sub>の発生が比較的少ない天然ガスの55%がロシア産など、ロシアへの依存が極度に高まりました。

侵攻以前、ドイツはウクライナ支援に消極的で、軍用ヘルメット5千個を送るとの表明は他の西側諸国の嘲笑を浴びました。ロシア依存がネックになったものでしょう。侵攻後、一転してドイツは、防衛政策、エネルギー政策の大転換を宣言しています。ロシアとの新たな天然ガスパイプラインNordStream2は、稼働直前に停止されました。

環境問題とウクライナ侵攻、一見無関係のようですが、EUのロシアへの天然ガス依存の高さが、経済制裁を躊躇うとの憶測を生み、侵攻を促した可能性があると感じます。実際、エネルギー大国アメリカは、ロシア産原油、天然ガスの輸入を即日禁止としました。一方、EUの主要国は、即時禁輸は難しいとしています。

昨年12月、世界銀行、ユネスコ、ユニセフは、新型コロナによる学校閉鎖の影響で、現在の生徒たちが、17兆ドル（約2000兆円）の生涯年収を失うとの報告書を公表しました。収入の減少とは、生み出される付加価値、豊かさの減少を意味します。世界における学習機会の損失が、個人にとどまらず、世界の将来の生産性、所得、福祉などに壊滅的な影響を及ぼす可能性があるということです。

ここに新たに、ウクライナ侵攻、ロシアに対する経済制裁が加わりました。世界の緊張、不透明感は限りなく高まっています。富山国際学園は、教育、保育を専門に行う法人です。人材の育成を通し未来へと希望をつなぐため、私たちは、ITを活用し、教育機会の積極的な確保に全力を傾けなければならないと考えます。

### CONTENTS

- |  |                            |
|--|----------------------------|
| □新型コロナウイルスとウクライナ侵攻 理事長 金岡 克己 … 1                                 | □令和4年度入試状況・令和3年度進路状況等 …… 5 |
| □特集1 北京2022オリンピックフィギュアスケート競技に<br>鍵山優真選手が出場し、団体銅メダル、個人銀メダルを獲得 … 2 | □学園退職者・新任者一覧 …… 5          |
| □特集2 ポプラプロジェクトの取り組みについて … 3                                      | □令和4年度予算概要 …… 6～7          |
| □特集3 富山国際学園情報教育研究センターの取り組み … 4                                   | □学園NEWS …… 8               |

# 北京2022オリンピックフィギュアスケート競技に 鍵山優真選手が出場し、 団体銅メダル、個人銀メダルを獲得

学校法人富山国際学園本部  
社会福祉法人富山国際学園福祉会 にながわ保育園

令和3年度、富山国際学園の関係者から2人目のオリンピックメダリストが誕生しました。東京2020パラリンピック車いすバスケットボール競技に出場された岩井孝義選手（富山国際大学附属高校卒）に続き、北京2022オリンピックフィギュアスケート競技に出場された鍵山優真選手です。鍵山選手は幼少期を富山県で過ごされ、本学園が母体となって設立した社会福祉法人富山国際学園福祉会が運営する「にながわ保育園」の卒園生です。今回は、鍵山選手の幼少期を知るにながわ保育園の藤城園長先生にインタビューをさせていただきました。

—このたびの鍵山選手のオリンピック出場、そしてメダル獲得について、どのように感じておられますか？

「優真君のことはジュニア時代から応援していました。今回の活躍は、私たちに大きな夢と温かい心を持たせてくれました。そして、夢を追い続ける、持つ続けるチカラを子どもたちに届けてくれました。」

—にながわ保育園に通園されていた当時の鍵山選手について教えてください。

「ちょっとはにかんだ表情を見せることもありましたが、仲の良い友だち数人と優しく穏やかな表情で楽しそうに遊んでいました。」

—鍵山選手の思い出に残っているエピソードを教えてください。

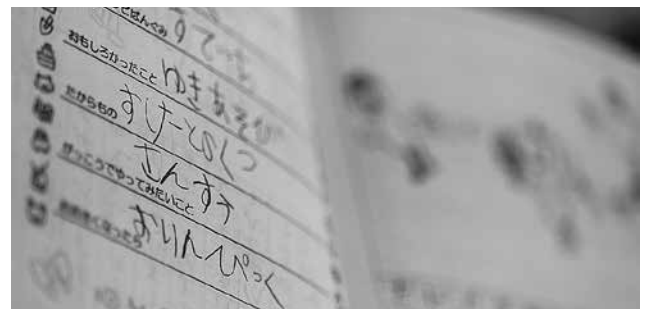
「年長児の生活発表会では、演じることが苦手な子にさりげなくエプロンの紐結びを手伝ってくれたお陰で、劇遊びがスムーズに進行しました。友だちにさりげなく寄り添ったかわりのできるやさしさを持っていました。」

—「社会福祉法人富山国際学園福祉会にながわ保育園」はどんなところですか。保育を展開するうえで、大切にしていることなどを教えてください。

「にながわ保育園は「みんな輝け 笑顔あふれる保育園！」がキャッチフレーズ。遊びの中には、様々な学びがあります。遊びや生活そのものが教育であると考えています。子どもの発達段階や興味に合わせた遊びや体験を通して人としての土台作りを目指しています。」

—今後の鍵山選手にさらに期待することや、保育園からメッセージがあれば、お願いします。

「保育園時代から始めたスケートで大きな舞台に立つ努力を続けるパワーを秘めた優真君の活躍に目が離せません。自分の可能性を信じて夢を持ち続ける鍵山選手をずっと応援しています。」



コロナ禍で、練習環境や活動も制限されるなかでの活躍、そしてメダル獲得は、日本中に感動と大きな力を与えてくれました。

鍵山選手、岩井選手の今後さらなる活躍を、富山国際学園関係者一同、心より応援しております。

# ポプラプロジェクトの取り組みについて

富山短期大学 食物栄養学科 講師 中根 一恵

「ポプラプロジェクト」は富山県女性財団の「コロナ禍における女性のつながりサポート事業」の委託を受けて実施してきました。女子学生が90%以上を占める富山短期大学では、コロナ禍での経済的な理由から衛生用品を購入できないなど様々な不安を抱える学生への支援を目的として、活動を行っています。

令和3年10月から令和4年2月までの取り組みについて、ご報告いたします。

## ポプラプロジェクトの由来

「生理」という極めて個人的な事柄を「生理の貧困に向き合う」という社会的な活動として取り組むにあたり、意味が明確でかつ親しみやすい名称を考えました。当時、B館前に1本だけ残っていたポプラの木は、富山女子短期大学が設置された当初は学舎を取り囲むように植栽されていました。樹高が高くまっすぐに伸びる姿にこれからの活動を重ね合わせました。また、「ポプラ」という語の由来を調べてみると、ラテン語のポプルス（populus）で、その意味は「人々、共同体」を指すことが分かりました。「自分のために、そしてみんなのために」を行動原理とする活動に「ポプラ」はぴったりな言葉ではないでしょうか。



## 活動の内容について

各学科から集まった、学生10名と教職員で活動を進めました。まずは、コロナ禍における経済的な理由から生理用品の購入に困っている学生への支援を目的に学内のトイレへの生理用品の設置を行いました。学内にあるトイレ約70か所の個室へ設置しました。

次に、学内における生理の貧困の状況、生理に対する意識などに関する現状把握をするため、アンケート調査を実施しました。

アンケート結果より、学生の中で生理に関して多数の悩みや不満の声があり、充実した人生や学生生活の妨げとなっている人が多数いることが分かりました。

また、悩んでいるものの、実際に声を挙げる学生が少ない様子がかがえました。

アンケートの結果を踏まえ、今後に必要な取り組み内容やボランティアメンバー自身が困っていることなどの意見交換を行ったところ「生理痛が辛いときがあるが対処方法が分からない」「病院に行きづらい」「病院に行くタイミングが分からない」などの意見が寄せられました。そこで、生理に対する理解を深める必要性を感じ、令和4年2月、講師に女性クリニック Wel TOYAMA 代表、産婦人科医の種部恭子先生より「女性の活躍を支える女性の健康」をテーマにオンライン講演をしていただきました。生理に対する正しい理解、適切な受診・健診の必要性などを知る貴重な機会となりました。

ポプラプロジェクトに参加した学生からは、「いろいろな理由で生理用品が買えない人や、LGBTQ（性的マイノリティ）などについてたくさん話し合いをし、ポスターを制作したり、生理用品を提供したりしました。このような問題に今まで気づけなかったのがこのボランティアを通してこの問題を知り、問題解決に携わることができて嬉しかったです。」「この活動を通して、学生の中で「生理に関する悩み」がとても多いことが明らかになりました。これからもポプラプロジェクトの活動を通じて、学生の皆さんへ支援を続けていきたい」などの意見がありました。



## 今後の取り組み

これまでの活動を通して、ポプラプロジェクトの取り組みが少しずつ学内外で周知され始めています。今後は、生理の貧困への取り組みとして生理用品の配付を継続しながら、生理にまつわること、それ以外のことによって困っている女性への相談、情報提供などの支援も含めて、活動を続けていきたいと考えています。



# 富山国際学園情報教育研究センターの取り組み

富山国際大学現代社会学部 教授  
富山国際学園情報教育研究センター 次長 上坂 博亨

富山国際学園情報教育研究センター（以下、情教研センター）は、学園内の教育機関（大学・短大・付属高校）が一体的に情報教育研究や情報基盤整備等を推進するために、2019年4月に設置されました（第44号に既報）。

その後、年間6回のセンター会議等をとおして学園内情報基盤の整備計画を策定し、2020年度の予算化作業を経て、2021年度から本格的に基盤整備事業を開始しました。その事業内容を表1に一覧します。本報ではこれまでの整備事業内容と今後の計画も含めて簡単にご紹介します。

表1 2021年度の事業内容

No	概要
1	大学、短大、学園本部のインターネット接続（外部接続）の10Gbps化
2	学園常駐システムエンジニア（SE）の配備とサービス開始
3	学園情報セキュリティ規程の策定、発行と施行
4	外部からの攻撃型アクセス（DDoS攻撃）に対するシステムセキュリティ強化
5	学内事務作業のシステム化とワークフロー開発（一部）
6	Googleカレンダーによる学園教職員のスケジュール共有
7	学園内統一メールアドレス（@tii.ac.jp）の付与と運用開始
8	大学情報教育特別教室（10Gbps教室・東黒牧1号館101教室）の整備
9	教育用情報基盤（LMS）の導入（MS-Teams, Google Workspace等）
10	図書館システム更新と、システムクラウド化による運用性向上

## （インターネット接続速度を10倍に）

センター最大の事業は、歴史的に大学、短大、付属高校がそれぞれ個別に運用しているインターネット接続と内部LANを学園のNWとして統合化し、管理機器の台数や費用、作業コストを削減し、シンプルで低価格、かつ高セキュリティのNWへと改善する事です。2021年度にはまず、大学と短大のインターネット（SINET）接続を1本化し、従来の10倍の能力となる10Gbpsの通信速度を確保しました。これを基盤として2022年度から内部LANやWi-Fi環境の強化を順次進める予定としています。

## （常駐SEによるきめ細かなサポート）

ついに本学園にも情報システムの専門要員が配備されました。（株）インテックから派遣された2人のSE

（システムエンジニア）が短大A館に居を構え、東黒牧、呉羽両地区をサポートしています。SE諸氏は日頃からの教職員・学生サポートのみならず、学園情報システム改善に向けた諸提案、時々刻々と発生する諸問題への対応、外部情報システムベンダとの折衝など、あらゆる情報業務をこなしています。

## （学園セキュリティ規程の策定と施行）

2019年度から開始されたGIGAスクール構想と連動して、高等教育機関における情報セキュリティ規程の整備と体制化、セキュリティインシデント（事件）への対応手順が求められています。情教研センターでは2018年度からセキュリティ規程の制定に取り組み、2022年3月までに規程の整備と体制確立を進めて、4月からの運用開始にこぎつけたところです。

## （学園内メールアドレス統一と事務作業効率化）

本学職員のメールアドレスは、それぞれの教育機関で独自に管理されておりました。そのため人事異動などのたびにアドレス変更が発生し、これに伴って対外的な混乱、誤送信メールによる情報管理問題などを引き起こしています。そこで事務職員を中心として本年3月よりメールアドレスを「@tii.ac.jp」に統一しました。さらに大学、短大で問題となっている「紙ベース」の事務作業を段階的に電子化する方針で、緊急性の高い作業からワークフローシステムへの転換に着手しています。

## （教育のDXに向けた取り組み）

付属高校においては2014年から新入生全員がiPadを所持するなど先進的取り組みを進め、全国的に紹介されています。大学と短大においても高校で培ったノウハウを生かしながら、教育のDXに取り組んでいます。2020年には新型コロナの影響でzoomを使ったリモート授業が一気に導入され、それに伴うNW強化を急ピッチで行って来ました。2021年度からはLMS（Learning Management System）への転換として、大学ではMS Teams、短大ではGoogle Workspaceの利用をスタートしています。

情教研センターでは今後、2024年度までの3年間に計画的に学園情報ネットワークの総合的整備を進め、より強力でセキュアな情報インフラの構築を実行して行きます。また一方、学生諸氏や教職員のご要望にお応えし、快適に就学・就業していただくための基盤情報システム環境を整備・改善していく予定です。皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。

令和4年度入試状況

大学

(令和4年4月6日現在)(単位:人)

学部	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
現代社会	120	312	311	276	125
子ども育成	90	267	264	199	97
合計	210	579	575	475	222

短大

(令和4年4月6日現在)(単位:人)

学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
食物栄養	80	133	133	125	85
幼児教育	80	128	128	118	86
経営情報	110	186	186	182	116
健康福祉	40	37	37	38	29
食物栄養専攻	15	15	15	12	12
合計	325	499	499	475	328

※経営情報学科・健康福祉学科の合格者数には、第二志望合格者を含む

高校

(令和4年4月8日現在)(単位:人)

コース	募集人員	出願者	受験者	入学者
国際英語コース	2クラス	192	191	74
特進コース	2クラス	474	473	64
フロンティアコース	4クラス	385	385	138
合計	8クラス	1,051	1,049	276

令和3年度進路状況

(令和4年5月1日現在)(単位:人)

学部	卒業生	就職希望者	就職決定者	決定率(%)	進学者
現代社会	120	108	108	100.0	1
子ども育成	96	88	88	100.0	8
合計	216	196	196	100.0	9

(令和4年5月1日現在)(単位:人)

学科	卒業生	就職希望者	就職決定者	決定率(%)	進学者	研究生
食物栄養	78	70	70	100.0	6	/
幼児教育	94	91	90	98.9	1	
経営情報	122	115	115	100.0	4	
健康福祉	37	35	35	100.0	2	
食物栄養専攻	7	5	5	100.0	0	
合計	338	316	315	100.0	13	5

※研究生のうち、3名は就職決定者を含む

(令和4年3月31日現在)(単位:人)

大学	合格者	入学者	短期大学	合格者	入学者	その他	合格者	入学者	卒業生
富山国際大学	24	15	富山短期大学	21	19	専修各種学校	62	59	246
国公立大学	25	20	公立短期大学	0	0	就職		11	
他の私立大学	178	102	他の私立短期大学	9	7	その他		13	
合計	227	137	合計	30	26	合計	73	83	

令和4年度入園児童

幼稚園

(令和4年4月1日現在)(単位:人)

	男	女	合計
3歳児	12	9	21
4歳児	2	0	2
5歳児	1	0	1
合計	15	9	24

※新入園児のみ

令和3年度卒園児童

(令和4年3月31日現在)(単位:人)

	男	女	合計
5歳児	14	19	33

◆退職者一覧(令和4年3月31日)

- 〈大学〉 堀川真理子(現代社会学部 教授)
- 高尾 哲康(現代社会学部 准教授)
- 室林 孝嗣(子ども育成学部 教授)
- 岩城 正明(事務部総務課 運転手兼校務助手)
- 〈短大〉 中山 耕造(食物栄養学科 教授)
- 高木 三郎(幼児教育学科 教授)
- 大森 宏一(幼児教育学科 准教授)
- 毛利 愉子(健康福祉学科 講師)
- 円佛 利康(事務部 事務部長)
- 大丸 久仁(学生部学生支援課 課長)
- 藤巻 千春(学生部学生支援課 主査)
- 吉倉 和廣(事務部庶務課 運転手兼校務助手)
- 〈高校〉 倉田 延邦(校長)
- 岩崎 潤(国語 教諭)
- 小谷内勝一(理科 教諭)
- 中川 祐人(英語 教諭)
- 諸橋 未来(養護教諭) ※令和3年8月31日付

◆新任者一覧(令和4年4月1日付)

- 〈学園本部事務局〉 金岡 智子(副主幹) ※令和3年7月1日付
- 〈大学〉 豊岡 理人(現代社会学部 准教授)
- 三原 茂(子ども育成学部 教授)
- 辻 和希(子ども育成学部 講師)
- 義基 祐正(子ども育成学部 講師)
- 金岡 徹雄(事務部・運営管理部総務課 課長)
- 堀 鈴佳(事務部・運営管理部総務課 主事補)
- 長谷川浩一(事務部・運営管理部総務課 運転手兼校務助手)
- 〈短大〉 川口 将史(食物栄養学科 准教授)
- 塩見 一成(幼児教育学科 講師)
- 松本 圭朗(幼児教育学科 助教)
- 井坂 友紀(経営情報学科 准教授) ※令和3年10月1日付
- 宮坂 理絵(学生部 主事)
- 〈高校〉 仲井 章(校長)
- 本波 弘一(数学 教諭)
- 山本 昭弘(英語 教諭)
- 山崎 一美(国語 教諭)
- 高道 保衣(養護教諭) ※令和3年9月1日付

令和4年度 予算概要

令和4年度の事業計画及び予算は、去る3月29日開催の評議員会・理事会において承認されました。

各校の主な事業計画及び予算の概要は以下のとおりです。

【事業計画】

【大学】

- ①教育の質保証の向上をめざし、アクションプランに基づく多様な取り組みを推進
- ②外部資金の積極的な獲得
- ③国際化教育及び情報教育の充実を図り、ITや5Gを活用したスマートキャンパス化を推進【現代社会学部】
- ④保育・教育・福祉の人材育成及び情報教育の推進を図り、現代社会学部と連携したスマートキャンパス化を推進【子ども育成学部】

- ⑤大学改革、新規事業、危機管理などに効率よく対応できる組織作りに着手

【短大】

- ①教育の質保証・向上のための教育改革
- ②地域連携や学生ボランティア活動を推進
- ③支援を要する学生への相談支援の整備
- ④各学科の教育の一層の向上に努め、地域産業と生活向上に貢献する人材育成を推進
- ⑤学習環境の充実を図るための設備改修

【高校】

- ①国際化教育及びICT教育を推進
- ②きめ細かい学習指導の実施
- ③良好な教育サービスの提供のための教育環境整備

【幼稚園】

- ①幼稚園型認定こども園として、新たな幼児教育・保育ニーズに対応した取り組みを推進

資金収支予算書

令和4年4月1日から  
令和5年3月31日まで (単位：千円)

	令和4年度予算額	令和3年度予算額	差異	
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,981,834	1,997,023	△ 15,189
	手数料収入	39,452	37,568	1,884
	寄付金収入	1,503	1,503	0
	補助金収入	599,541	644,920	△ 45,379
	資産売却収入	1	1	0
	付随事業・収益事業収入	36,887	35,838	1,049
	受取利息・配当金収入	2,320	5,220	△ 2,900
	雑収入	75,246	35,504	39,742
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	454,555	447,020	7,535
	その他の収入	80,365	132,464	△ 52,099
	資金収入調整勘定	△ 536,030	△ 539,922	3,892
	前年度繰越支払資金	1,122,115	1,094,175	27,940
	収入の部合計	3,857,789	3,891,314	△ 33,525
支出の部	人件費支出	1,718,728	1,652,668	66,060
	教育研究経費支出	658,329	647,639	10,690
	管理経費支出	143,702	145,905	△ 2,203
	借入金等利息支出	0	0	0
	借入金等返済支出	0	0	0
	施設関係支出	28,595	33,679	△ 5,084
	設備関係支出	102,748	33,219	69,529
	資産運用支出	4,512	4,512	0
	その他の支出	85,500	118,500	△ 33,000
	[予備費]	15,500	15,500	0
	資金支出調整勘定	△ 174,000	△ 78,000	△ 96,000
	次年度繰越支払資金	1,274,175	1,317,692	△ 43,517
	支出の部合計	3,857,789	3,891,314	△ 33,525

事業活動収支予算書

令和4年4月1日から  
令和5年3月31日まで (単位：千円)

	科目	令和4年度 予算額	令和3年度 予算額	差異
教育活動収入	学生生徒等納付金	1,981,834	1,997,023	△ 15,189
	手数料	39,452	37,568	1,884
	寄付金	3,506	3,506	0
	経常費等補助金	599,541	644,920	△ 45,379
	付随事業収入	36,887	35,838	1,049
	雑収入	75,345	35,503	39,842
	教育活動収入合計(1)	2,736,565	2,754,358	△ 17,793
	人件費	1,722,728	1,656,668	66,060
	教育研究経費	998,174	962,639	35,535
	管理経費	147,251	149,604	△ 2,353
徴収不能額等	2	2	0	
教育活動支出合計(2)	2,868,155	2,768,913	99,242	
教育活動収支差額(3)=(1)-(2)	△ 131,590	△ 14,555	△ 117,035	
教育活動外収入	受取利息・配当金	2,320	5,220	△ 2,900
	その他の教育活動外収入	0	1	△ 1
	教育活動外収入合計(4)	2,320	5,221	△ 2,901
	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出合計(5)	0	0	0	
教育活動外収支差額(6)=(4)-(5)	2,320	5,221	△ 2,901	
経常収支差額(7)=(3)+(6)	△ 129,270	△ 9,334	△ 119,936	
特別収入	資産売却差額	1	1	0
	その他の特別収入	3,603	3,603	0
	特別収入合計(8)	3,604	3,604	0
	資産処分差額	5,600	8,600	△ 3,000
その他の特別損失	1	1	0	
特別支出合計(9)	5,601	8,601	△ 3,000	
特別収支差額(10)=(8)-(9)	△ 1,997	△ 4,997	3,000	
【予備費】(11)	15,500	15,500	0	
基本金組入前当年度収支差額(12)=(7)+(10)-(11)	△ 146,767	△ 29,831	△ 116,936	
基本金組入額合計(13)	△ 49,391	△ 9,808	△ 39,583	
当年度収支差額(14)=(12)+(13)	△ 196,158	△ 39,639	△ 156,519	
前年度繰越収支差額(15)	△ 2,424,926	△ 2,459,816	34,890	
基本金取崩額(16)	0	0	0	
翌年度繰越収支差額(17)=(14)+(15)+(16)	△ 2,621,084	△ 2,499,455	△ 121,629	
(参考)				
事業活動収入合計(1)+(4)+(8)	2,742,489	2,763,183	△ 20,694	
事業活動支出合計(2)+(5)+(9)+(11)	2,889,256	2,793,014	96,242	

## 【事業活動収支予算】

事業活動収支予算において、収入では、学生生徒等納付金 15 百万円減、経常費等補助金 45 百万円減などにより、事業活動収入計が 2,742 百万円（対前年度当初予算比 21 百万円減・0.7% 減）となりました。

支出では、人件費 66 百万円増、教育研究費 35 百万円増などにより、事業活動支出合計が 2,889 百万円（同 96 百万円増・3.4% 増）となりました。また、基本金組入額 49 百万円余りを差し引いた当年度収支差額は、196 百万円の赤字予算となりました。

## 【資金収支予算】

資金収支予算において、令和 4 年度の学園が行う諸活動に対応する収入として、学生生徒等納付金収入、補助金収入、付随事業・収益事業収入、令和 5 年度入学生の前受金収入、令和 3 年度末の未収入金等が計上されてい

ます。一方、支出として、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設設備関係支出等が計上されています。その結果、令和 4 年度の諸活動に対するすべての収入・支出の資金として、3,858 百万円（同 33 百万円減・0.8% 減）が見込まれています。

## 【学園の財務状況】

学園の財務状況は、単年度ベースでは、昨年に続き赤字予算となりました。

事業活動収入の中でも大学・短大・高校においては、定員確保しながらも、学生生徒等納付金が前年度を下回ることを見込んだ予算となっているためです。本学園では、学生生徒等納付金と経常費等補助金が、収入の約 95% を占めています。従って、これらの予算を確実に確保しつつ、新たな収入源を確保すること、そして、支出予算の効率のかつ効果的な執行に努めなければなりません。

## 令和 4 年度部門別事業活動収支予算書

(単位：千円)

活動区分	科目	部 門	法 人	大 学	短 大	高 校	幼 稚 園	総 額
教育活動収支	収入業の活動	学生生徒等納付金	0	928,041	669,300	383,833	660	1,981,834
		手数料	0	14,518	12,604	12,300	30	39,452
		寄付金	1	1,502	3	1,000	1,000	3,506
		経常費等補助金	0	132,695	116,451	284,016	66,379	599,541
		付随事業収入	0	13,439	17,792	0	5,656	36,887
		雑収入	200	48,725	4,103	22,317	0	75,345
		教育活動収入合計(1)	201	1,138,920	820,253	703,466	73,725	2,736,565
	支出業の活動	人件費	34,292	651,647	510,360	473,951	52,478	1,722,728
		教育研究経費	49,551	384,126	324,317	199,085	41,095	998,174
		管理経費	10,243	61,923	57,519	16,439	1,127	147,251
徴収不能額等		0	1	1	0	0	2	
	教育活動支出合計(2)	94,086	1,097,697	892,197	689,475	94,700	2,868,155	
	教育活動収支差額(3)=(1)-(2)	△ 93,885	41,223	△ 71,944	13,991	△ 20,975	△ 131,590	
教育活動外収支	収入業の活動	受取利息・配当金	2,020	200	100	0	0	2,320
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0	0
		教育活動外収入合計(4)	2,020	200	100	0	0	2,320
	支出業の活動	借入金等利息	0	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	0
	教育活動外支出合計(5)	0	0	0	0	0	0	
	教育活動外収支差額(6)=(4)-(5)	2,020	200	100	0	0	2,320	
	経常収支差額(7)=(3)+(6)	△ 91,865	41,423	△ 71,844	13,991	△ 20,975	△ 129,270	
特別収支	収入業の活動	資産売却差額	0	0	1	0	0	1
		その他の特別収入	0	1,000	1,003	1,000	600	3,604
		特別収入合計(8)	0	1,000	1,004	1,000	600	3,604
	支出業の活動	資産処分差額	0	2,000	3,000	600	0	5,600
		その他の特別損失	0	0	1	0	0	1
	特別支出合計(9)	0	2,000	3,001	600	0	5,601	
	特別収支差額(10)=(8)-(9)	0	△ 1,000	△ 1,997	400	600	△ 1,997	
	【予備費】(11)	2,000	5,000	5,000	3,000	500	15,500	
	基本金組入前当年度収支差額(12)=(7)+(10)-(11)	△ 93,865	35,423	△ 78,841	11,391	△ 20,875	△ 146,767	
	基本金組入額合計(13)	△ 16,428	△ 9,019	△ 23,416	△ 528	0	△ 49,391	
	当年度収支差額(14)=(12)+(13)	△ 110,293	26,404	△ 102,257	10,863	△ 20,875	△ 196,158	
	前年度繰越収支差額(15)	—	—	—	—	—	△ 2,424,926	
	基本金取崩額(16)	—	—	—	—	—	0	
	翌年度繰越収支差額(17)=(14)+(15)+(16)	—	—	—	—	—	△ 2,621,084	

(参考)

事業活動収入合計(1)+(4)+(8)	2,221	1,140,120	821,357	704,466	74,325	2,742,489
事業活動支出合計(2)+(5)+(9)+(11)	96,086	1,104,697	900,198	693,075	95,200	2,889,256



## 富山国際大学

### 南砺市の児童には、SDGsリーフレットを 転入者向けには、クリアファイルをデザイン提案し、製作しました！



平成 27 年から包括連携協定を結んだ南砺市との取り組みを今回は紹介します。令和 4 年 3 月 1 日（火）、南砺市役所市長室において、子ども育成学部 4 年（当時）の飯田千晴さん（現在、慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科在学中）が考案した SDGs リーフレット（右）と転入者向けクリアファイル（左）を田中幹夫市長に披露しました（写真）。

SDGs リーフレットには、「マボロシのお宝 SDGs をさがせ！」と銘打っており、例えば「ありがとうを 1 日 5 回、1 週間続ける」等の 17 のミッション等が載せてあります。そして、ミッションをすべて達成すると、オリジナルの缶バッジがもらえるという仕組みにもなっています。すでに 2,500 枚作成され、市内 9 校に贈られました。また、防災や子育て等、8 分野の情報が得られるサイトが紹介されたクリアファイルも、すでに 1,000 枚作成され、3 月 2 日（水）から転入世帯に配られています。

「障害の有無に関係なく誰でも利用できるユニバーサルデザインを取り込み、高齢者や色覚障がい者でも使えるよう、フォントや色にもこだわりました。」と述べる飯田さんに、田中市長も「見るだけで終わらせず、アクションに繋げていくという発想が素晴らしい。」と太鼓判を押していただきました。

今回の取り組みのように、学生のアイデアで地域全体もウェルビーイングになれるような仕掛けづくりや仕組みづくりを今後も地域交流センターは発信してまいります。

## 富山短期大学

### 介護のシゴトとつながる！

健康福祉学科では、介護の仕事の魅力を伝え、イメージアップを図ることを目的に、令和 3 年度より呉羽地域を対象に「地域での介護の仕事魅力アップ推進研究モデル事業」に取り組んでいます。これまでに、各町内のサークル等での勉強会、児童生徒の職場体験での学びの冊子化、中高生とその保護者の介護に関する意識調査、介護の基礎的な知識を学び、地元の介護施設等で体験実習を行う「介護に関する入門的研修」を実施しています。参加された地域住民の方からは、「介護への関心をもっと深めたい」「100 歳まで元気に生きるヒントを得られた」など嬉しい感想をいただいています。



介護の仕事への理解を深めるため、今年度は「つなぐ・つながるプロジェクト」を展開していきます。

## 富山国際大学附属高等学校

### 新入生を迎えて



本校は令和 4 年 4 月 8 日（金）に 276 名の新入生を迎え、入学式を挙行了しました。仲井校長は式辞で、「まったく新しい世界の扉が皆さんに開かれた。英語と ICT という 2 つのコミュニケーションツールを使いこなす力を身に着けてほしい」と、英語で新入生に呼びかけました。金岡理事長からは、「個性を思い切り伸ばし、新しい仲間と交流して国際人の一步を踏み出してほしい」との激励がありました。そして、新入生代表の本江瑠華（ほんごうるか・高岡市立南星中学校出身）さんが、「英語学習を通してコミュニケーション能力を高め、視野を世界に大きく広げることで、自分の見識や考えを深めたい。成長し続ける 3 年間にしたい」と決意を述べました。

本校を選んでもくれた生徒たちを国際人として最大限に成長させるため、教職員一同、力を尽くします。

## 富山短期大学附属みどり野幼稚園

### 「♪やねよりたかいこいのぼり～」

憧れの年長組に進級し、胸に青バッチが輝く 28 名の子どもたち。『こどもの日』を迎える準備として、「手作りこいのぼり」を飾りました。昨年の子供から引き継いだ大きなこいのぼりに、今年は鱗を付けることになり、みんなで相談しながら立派な鱗の“こい”が完成！空に泳がせようと、ロープでつないだこいのぼりを屋上のフェンスにつなぎ、風になびきはじめた様子に大喜びでした。「およいでるみたい」「きもちよさそうだね！」とつぶやいたり、強風にあおられると「がんばれ～！」と応援したりする子どもたち。こいのぼりを眺めながら、「♪やねよりたかいこいのぼり～」と歌い、元気で楽しい一年となるよう願いました。

